

がんプロ公開セミナー

医療者のためのコミュニケーショントレーニング

アンケート結果

日時平成30年2月18日（日）10：00～16：00

場所弘前大学医学部コミュニケーションセンター

参加者：20名

アンケート回答者：19名

回収率95%

1.参加の動機（複数回答）

|           |    |
|-----------|----|
| 向学のため     | 9人 |
| 興味があった    | 7人 |
| 業務に役立てるため | 8人 |
| 上司からの命令   | 3人 |

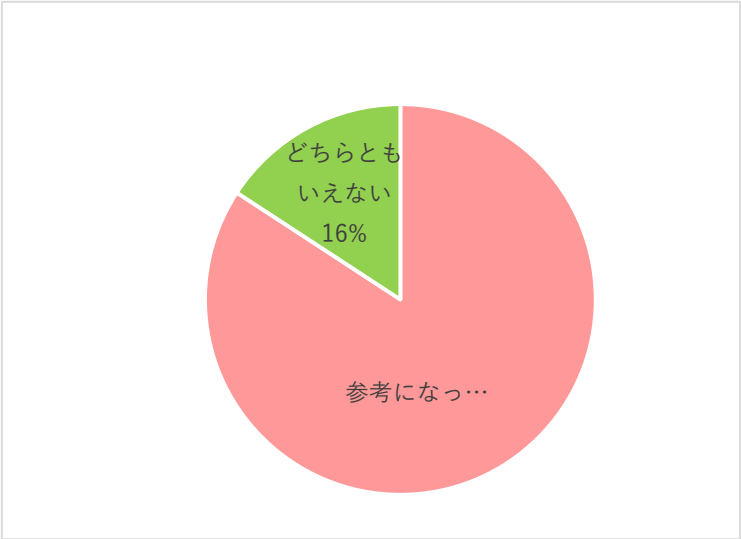
2.参加者内訳

|             |    |
|-------------|----|
| 看護師         | 8人 |
| 医師          | 4人 |
| 医療ソーシャルワーカー | 3人 |
| 事務職         | 2人 |
| 生活相談員       | 1人 |
| 薬剤師         | 1人 |
| 介護支援専門員     | 1人 |

3.研修会は何で知りましたか？

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 勤務先へのダイレクトメール   | 10人 |
| 弘前大学がんプロホームページ  | 4人  |
| がんサロンだより        | 0人  |
| 弘前大学がんプロフェイスブック | 0人  |
| その他             | 5人  |
| ・知り合いのフェイスブック   |     |
| ・先日の研修会で配られたチラシ |     |
| ・がんサロン          |     |
| ・知人からの紹介        |     |

4. 研修内容について

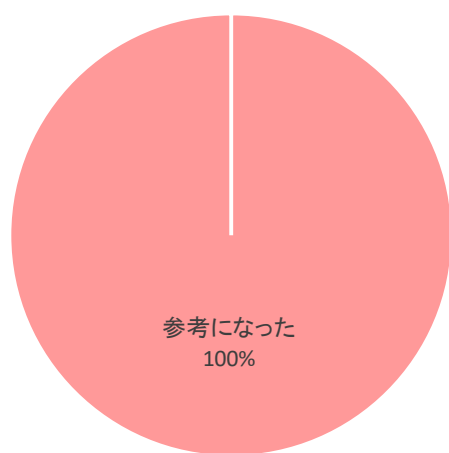


【研修の感想など】

- ・リラックスして聴くことが出来ました。ありがとうございました。
- ・事実確認を第一に実践していきます。
- ・事実をもとに質問していくのがとても難しかった。一緒にペアを組んだ方はとても上手だったので、今後参考にしていきたい。
- ・感情と考えの違いが難しかった。状況に応じて質問を使い分け、更に相手の答えをきちんと理解することが大変重要だと感じた。

- ・医療者ではなく、違った視点からのコミュニケーションスキルを知ることができて良かったです。経験をつんでいきたいと思いました。
- ・現在医療従事者ではなく、専門職でない自分が参加しても理解できるか不安で、申込め切すぎても申し込めるとわかってから申し込みました。内容は、人類学や社会的コミュニケーション論など別分野で学んだことのある知見があったので理解しやすかったです。具体的な事実に基づくコミュニケーションは自閉症スペクトラム症の人がコミュニケーションを円滑にするためにとても良いトレーニングになると思いました。
- ・講義内容はわかりやすかったのですが、実際に行ってみると頭の中での整理がつかず、すぐには出来ず、今後職場で生かしていきたいと思います。
- ・問題を解決するのを考えるのは相手に、相手が気づくことを手助けしてあげる手法を大変たのしく聴き、学ぶことができました。和田先生の経験談を聞けて良かったです。参加してよかった。
- ・SHAREとの使い分けが難しいですね。

## 5. ワークショップについて



### 【ワークショップの感想など】

- ・真実に基づく質問はとても参考になりました。
- ・質問の仕方は、難しいなと思いました。
- ・Whyを使わずに質問することが頭を使い、難しかった。
- ・メモに気を取られ、まったく質問し引き出し解決へ導くことができませんでした。
- ・とても難しかった。今後もっと勉強したい。
- ・事実を聞いていくワーク。たのしかった。
- ・参加者でも様々な職種があるので、いい体験になりました。事実確認のOKワードとNGワードが難しかったです。理解はできていても今回だけで習得は難しいと感じました。
- ・実践できるかわかりませんが、職場以外でも日常生活で使ってみたいです。
- ・はじめは「事実だけを聴く」という事にしづられてしまい、なかなか質問を考えられなかったが、エクササイズをすすめて行く中で相手と質問・答えが「カチッ」とはまった時はこれかなっと少しでしたが手ごたえを感じることができた。
- ・事実質問の難しさと素晴らしさを改めて実践しました。応用編にも是非参加させて頂きたいです。